

(参考様式4)

事業所名 グループホーム宇部

目標達成計画

作成日: 令和 6年 11月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	24	急変時の応急手当や初期対応の実践力に関して、職員個々に差がある。	次年度（令和7年度）中に全職員が統一した実践力を身につける。	次年度（令和7年度）上半期中に協力医療機関へ依頼し研修を開催する。また、マニュアルを見直し、実践力を高める。	10ヶ月
2	20	地域資源の把握が十分ではない。	多様な地域資源と協働できるよう、まずは地域資源を把握し、必要な資源が活用する。	地域包括支援センターをはじめ、関係機関へ施設パンフレット等を活用し、当事業所について理解をしてもらい、必要に応じて協働する。	8ヶ月
3	7	管理者及び職員が権利擁護に関する制度の理解が十分ではない。また、制度を活用している利用者も居るため、知識として理解しておく必要がある。	次年度（令和7年度）中に管理者及び職員が制度を理解する。	次年度（令和7年度）上半期中に研修を開催し、全職員が制度に関する理解を深める。	10ヶ月
4					ヶ月
5					



注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。